



カトリック中央協議会  
CATHOLIC BISHOPS' CONFERENCE OF JAPAN

# 会 報

《2011年12月号（486号）》

## 目 次

### 報 告

|                        |    |
|------------------------|----|
| ・特別臨時司教総会 .....        | 1  |
| ・常任司教委員会 .....         | 2  |
| ・列聖列福特別委員会 .....       | 3  |
| ・典礼委員会 .....           | 4  |
| ・難民移住移動者委員会 .....      | 5  |
| ・正義と平和協議会 .....        | 8  |
| ・HIV/AIDS デスク .....    | 11 |
| ・中央協議会事務局（出版、総務） ..... | 12 |

## 特別臨時司教総会

### ■2011年度特別臨時司教総会

日 時 2011年10月7日（金）9：30～16：00  
場 所 日本カトリック会館 マレラホール  
出席者 会 員 17人  
オブザーバー 4人  
総会事務局 8人

## 審 議

1. 第13回シノドスのLINEAMENTAに対する司教協議会としての回答書作成について  
教皇庁に提出する第13回シノドスのためのLINEAMENTAに対する、司教協議会としての正式回答書については、本特別臨時司教総会で出された諸意見を加味して、代表参加者の宮原良治司教が作成し、提出することを承認した。
2. 「朗読福音書 (Evangeliarium)」の発行について
  - ① 「朗読福音書」に以下の福音朗読の箇所を記載することを承認した。
    - 1) 待降節、降誕節〔主の降誕(12月25日)、聖家族、神の母聖マリア(1月1日)、主の公現、主の洗礼を含む〕、四旬節、復活節〔主の昇天を含む〕、年間のすべての主日
    - 2) 季節固有  
灰の水曜日、聖香油のミサ、聖なる過越の3日間〔主の晩さんの夕べのミサ、主の受難、復活徹夜祭〕
    - 3) 年間に祝う主の祭日  
三位一体、キリストの聖体、イエスのみ心、王であるキリスト
    - 4) その他の祝祭日  
主の奉献(2月2日)、日本26聖人殉教者(2月5日)、聖ヨセフ(3月19日)、神のお告げ(3月25日)、洗礼者聖ヨハネの誕生(6月24日)、聖ペトロ 聖パウロ(6月29日)、主の変容(8月6日)、聖母の被昇天(8月15日)、十字架称賛(9月14日)、諸聖人(11月1日)、死者の日(11月2日)、ラテラン教会の献堂(11月9日)、日本宣教の保護者 聖フランシスコ・ザビエル司祭(12月3日)、無原罪の聖マリア(12月8日)
    - 5) 儀式を伴うミサ  
堅信式、叙階式、助祭・司祭候補者認定式、朗読奉仕者選任式、祭壇奉仕者選任式、献堂式
  - ② 教皇庁典礼秘跡省の承認 (recognitio) を受けるため、「朗読福音書」を同省に提出することを承認した。

## 常任司教委員会

### ■10月定例常任司教委員会

日 時 2011年10月6日(木) 10:00-15:00  
場 所 日本カトリック会館 会議室2  
出席者 委 員 7人  
事務局 8人

## 報 告

1. 教皇庁人事について  
9月21日(水)、教皇ベネディクト十六世は、教皇庁聖座財務部局長のヴェラシオ・デ・パオリス枢機卿 (Velasio De Paolis 76歳) の定年による退任願いを受諾し、新局長としてアレッサンドリア司教のジュゼッペ・ヴェルサルディ師 (Giuseppe Versaldi 68歳) を任命した。同時に教皇はジュゼッペ・ヴェルサルディ師を大司教とした。
2. 「3.11東日本大震災を心にとめ、死者への追悼・被災者への慰め・被災地の再生を求める礼拝」開催について  
2011年9月11日(日)午後2時46分より、日本基督教団下谷教会(東京・台東区)で、カトリック中央協議会と日本キリスト教協議会主催、日本福音同盟東日本大震災対策室協賛により、標記礼拝が開催され、約180人(プロテスタント教会約100人、カトリック教会約80人)が参加した。

### 3. カトリック-ルーテル一致対話国際委員会について

2011年9月29日(木)上智大学(東京・千代田区)にて、第64回ルーテル-ローマ・カトリック共同委員会が開催され、カトリック-ルーテル一致対話国際委員会委員を務める鈴木浩師(ルーテル学院大学教授)より、2011年7月8日から15日にフィンランドのヘルシンキで開催された国際委員会の報告が行われた。

### 4. 東日本大震災に関するカリタスジャパンの対応について

東日本大震災にあたっての、現在までの募金状況と活動状況がカリタスジャパン・菊地功司教から報告された。9月29日現在の募金状況は、580百万円となった。

### 5. 中央協議会の口座に入金された義援金について

9月30日現在、中央協議会の口座に入金された東日本大震災被災者のための義援金とその用途に関する報告が行われた。義援金総額は65,878,526円、支出金額は13,006,085円、残金は52,872,441円となっている。

## 審議

### 1. 「朗読福音書(Evangelarium)」の発行について

典礼委員会から出された「朗読福音書(Evangelarium)」発行にともなう朗読箇所と典礼秘跡省への提出に関する提案を2011年度特別臨時司教総会で審議することを承認した。

### 2. 社会司教委員会からの原子力発電所についてのメッセージについて

2011年度特別臨時司教総会において、原発について討議する時間に、社会司教委員会から提出された原子力発電所についてのメッセージについて検討し、司教団メッセージとして発表できるよう準備を行う。

### 3. 10月開催の特別臨時司教総会の議案確定について

2011年度特別臨時司教総会で取り扱う内容を確定した。(詳細は、特別臨時司教総会報告参照)

### 4. 東日本大震災にかかわる寄付金交付要綱について

本常任司教委員会の諸意見を加味して修正した東日本大震災にかかわる寄付金交付要綱内容を承認した。助成対象は、教区として派遣する者の交通費とする。なお、公式タイトルは「東日本大震災復興支援助成金交付要綱」とした。

### 5. 中央協議会発行出版物の検討について

青少年司牧部門から出版審議会に依頼のあった、「YOUCAT」翻訳出版書籍を中央協議会から発行する方向で準備することを承認した。

## 列聖列福特別委員会

### ■2011年度第2回委員会

日時 2011年10月14日(金) 11:00-16:00

場所 カトリック高槻教会(大阪教区)

出席者 9人

陪席 6人

## 報告

### 人事

6月の定例司教総会で大塚喜直司教が、当委員会の委員長に就任。委員長を退任した溝部脩司教は、顧問に就任した。

## 審 議

### 1. 「高山右近列福申請書」作成

右近の列福事由が殉教者に変更されたことに伴い、右近の聖性の記述を簡素化し、殉教の事実と殉教の声望を詳細に記述する。溝部顧問が、以上の基本方針を踏まえて作成した改訂案を委員会が承認した。溝部顧問と筒井委員が、来年1月までに「高山右近列福申請書」を完成させる。

### 2. 殉教を総合的に論じる冊子の刊行について

これまで当委員会は、個々の殉教者に関して、その生涯の紹介や列福を祈るための冊子を刊行した。その効果もあり、殉教者への関心や理解が深まったと言えよう。一方、殉教そのものに対するさまざまな理解が生まれ、中には教会が大切にしてきた理解を逸脱しかねない論説が現れ始めている。そこで殉教に関する聖書の教えや教会教導職の見解、神学者の学説などを紹介しながら、現代を生きる日本の教会にとっての殉教の意義を総合的に伝える冊子を刊行することにした。来年度の発行を目指して、具体的な内容の検討に入る。

### 3. 「現代にひびく右近の霊性」の発行計画

委員の持ち回りの検討により、本文の記述内容がほぼ確定した。今回承認した古巣委員作成の付記を加え、来年1月末に発行する方向で準備を進める。書名を「現代にひびく右近の霊性」とする。

### 4. 右近に関するシンポジウムについて

2012年2月5日（日）に、カトリック大阪大司教館にて開催し、基調講演を溝部顧問、総合司会を大塚委員長とする。今回挙げたシンポジストの候補者と早急に交渉に入る。

次回会議 2012年1月20日（金）11:00-16:00 カトリック大阪大司教館

## 典礼委員会

### ■ 典礼音楽担当部門会議

日 時 2011年9月27日（火）15:00-29日（木）12:00

場 所 東京純心女子大学・石川研究室（東京・八王子市）

出席者 6人

## 審 議

### 1. 「キリアーレ」の試作について

「ミサの式次第と奉献文」のために試作した2種類の旋律とともに歌うための「キリアーレ」（あわれみの賛歌・栄光の賛歌・信仰宣言・感謝の賛歌・平和の賛歌）の試作の検討を行った。今回指摘された箇所については、次回会合までに担当者が修正を行う。

### 2. 「ミサの式次第と奉献文」の試作の旋律について

本年2月の会議での意見交換に基づいて修正された「ミサの式次第と奉献文」の試作の旋律の確認を行った。今回指摘された箇所については、次回会合までに担当者が修正を行う。

### ■ 「公式祈願」研究小委員会

日 時 2011年10月24日（月）14:00-17:00

場 所 日本カトリック会館 会議室5

出席者 3人

「種々の機会のミサ」の公式祈願の見直しを行った。

# 難民移住移動者委員会

## ■2011年度 第5回事務局会議

日 時 2011年9月8日(木) 10:30-12:00

場 所 日本カトリック会館 会議室4

出席者 4人

欠席者 1人

## 報 告

### 1. 発送業務について

- ・「船員の日」(7月10日)ポスター、メッセージ、AOS ニュースは6月10日に、「世界難民移住移動者の日」(9月25日)ポスター、メッセージ等は8月31日に全国の教区事務所、小教区、修道院あてに発送を完了。
- ・5月30日、幼きイエス会ニコラ・バレ修道院で行ったRAIK 所長・佐藤信行さんの講演会「改定入管法問題-2012年から実施される改定入管法を検証する-」の記録を小冊子として7月10日付で発行、全国の教区事務所、小教区、修道院あてに7月22日付で発送を完了。

### 2. 司教協議会秘書室からの問合せの件

教皇庁移住・移動者司牧評議会が東日本大震災後に新設した「AOS special Fund for the victims of Tsunami in Japan」(日本の津波被災者のための船員司牧特別基金)について、寄付金の支援に関する問い合わせがあった。

## 審 議

### 1. 「第2回定例委員会」の議題について

議題の内容を詳細に確認した。

### 2. 2011年度年間スケジュールの未定分について

下記の日程が決定した。

2012年2月3日(金)10:00-12:00 事務局会議、同日13:00-16:00 定例委員会

### 3. 現段階での課題整理と今後の計画(講演会、勉強会の検討)について

「第2回定例委員会」で検討する。

### 4. Fax News 瓦版クリスマス号の記事検討(内容・寄稿者)について

形式は昨年同様、ページ数は昨年のものから差し込み1ページ分を減らす。記事と寄稿者は、委員会事務局から候補者に打診する。

### 5. 冊子『改定入管法 Q&A』(RAIK/外キ協発行)への援助について

2012年7月に実施予定の改定入管法・入管特例法・住民基本台帳法の条文に即し、法務省と総務省のホームページや法案作成者たちの解説書を参照して冊子が作成された。改定法実施まであと1年となった現在でも、法が適用される当事者の在日外国人のほとんどが概要を知らない状態であるため、冊子の多言語版(英語、ポルトガル語、中国語、韓国語、タイ語、タガログ語)が急ぎ発行されることが望まれており、発行に関わる資金援助が必要となった。

### 6. 東日本大震災被災者に対する支援について

震災後、フィリピン人信徒が多く教会に集うようになり、その司牧のために淳心会が二人の司祭を仙台教区に派遣することになった。その二司祭と管区長が9月13日から15日に被災地を訪問するのに合わせて、外国人司牧にかかわる仙台教区司牧者の会議を9月16日(月)に仙台教区本部事務局で開催する。この会議には委員長の松浦司教も参加する予定で、カトリック東京国際センターCTICと横浜教区難民移住移動者委員会(ECCOM)にも出席を要請する。

## ■2011年度第2回 定例委員会議

日 時 2011年9月8日(木) 12:00-16:00

場 所 日本カトリック会館 会議室2

出席者 10人

欠席者 3人

### 報 告

#### 1. 発送業務について

第5回事務局会議 報告1.を参照

#### 2. 「全国研修会 in 岡山」(2月8日-10日)進捗状況について(柳本師)

8月に開催された岡山の準備会での報告を基に、研修会プログラム等の検討を行った。次回の岡山での準備会には、柳本師(委員)と大類(事務局)が参加する。

#### 3. 東京教会管区セミナーについて(フーベルト師)

東京教会管区内の教区担当者とメールで打ち合わせし、今年度の管区セミナーの案を募ったところ、東京教区担当のカトリック東京国際センターCTIC有川憲治さんより、福島フィリピン大会の開催についての提案があった。東京教区は、仙台南部から福島地域を支援しており、CTICがかかわることが可能。この件については、「ただのお祭りではなく、大会プログラムに参加者たちが何かを学ぶ内容を盛り込むことが望ましい」との意見があった。11月28日-29日の「全国担当者会議」で、管区内の教区担当者と打ち合わせをする。

#### 4. AOS(船員司牧)研修会及びAOS全国会議(10月13日-14日)について(金さん)

今年度のAOS研修会は、神戸港、横浜港、四日市港、東京港で開催。AOS全国会議は、大阪のサクラファミリアセンターで開催される。その他、8月19日-23日、ドイツのハンブルグで開催されたICMA(国際キリスト教海事協会)世界会議の報告とAOS特別基金にかかわる支援のための調査報告があった。

#### 5. 収容所問題の報告について(齋藤師)

東日本大震災時の衝撃が被収容者に大きく影響していることは前回の定例委員会で報告があったが、食事の質などの影響が残っている。仮放免許可が比較的多く出ている一方で、複数回収容される被収容者も多い。

#### 6. その他

日本女子修道会総長管区長会の米田修道女より「修道会・宣教会 多文化共生緊急支援基金」について説明があった。

### 審 議

#### 1. 2011年度年間スケジュールの未定分について

第5回事務局会議 審議2.を参照

#### 2. 現段階での課題整理と今後の計画(講演会、勉強会の検討)について

2012年7月より実施予定の改定入管法は、施行されるまであと一年であるが、当該者の外国籍住民に十分情報が行き渡っているとは言えない。できる限り多くの場所で、多言語版Q&Aの冊子を活用した勉強会を開催していく。

#### 3. 2012年度 全国研修会候補地検討について

長崎教会管区代表の川口敏師が欠席のため、「第3回定例委員会」(11月28日)に審議予定。

#### 4. 2012年度 活動計画案について

2012年度 活動計画について詳細を審議し、2011年度 活動計画に沿うことを決定した。

#### 5. 東日本大震災被災地訪問の報告、および今後の難民移住移動者委員会の支援について

松浦司教より被災地にいるフィリピン人たちへのサポートについて話があった。

- ・近々、淳心会から二人の司祭が岩手県大船渡に派遣され、沿岸部、内陸部に住む外国人の司牧にあたることになった。

- ・フィリピン人たちへの支援体制に関してさまざまな動きが出てきており、9月16日(金)に「仙台教区滞日外国人宣教司牧の基本方針を確認する会議」が開かれる。
  - ・広島教区と姉妹教区のフィリピン・インファンタ教区のローランド・ティローナ司教が来日し、9月25日(日)に石巻教会(仙台教区)でミサを行う。
  - ・9月26日(月)、フィリピンのアキノ大統領が来日予定。
  - ・仙台の朝鮮学校について、校舎の建て替えが行われる予定。
- その他、被災地訪問した定例委員の野上修道女と柳本師、齋藤師からもそれぞれ外国人被災者たちについて報告があった。

### ■難民・移住労働者問題キリスト教連絡会 2011年第5回運営委員会

日 時 2011年9月29日(木) 15:00-18:00  
 場 所 早稲田奉仕園 セミナーハウス(東京・新宿区)  
 出席者 カトリックから1人

#### 報 告

1. 日本キリスト教協議会より
2. 牛久面会ネットについて
3. 被収容者面会の報告

#### 審 議

1. 精神的な問題を抱える難民申請者の支援について
2. 事務局の運営について

### ■難民円卓会議―「難民に力を：自立と地域社会への統合に向けて」

日 時 2011年10月9日(日) 13:30-16:00  
 場 所 東京大学駒場キャンパス(東京・目黒区)  
 主 催 難民連携委員会(RCCJ)  
 共 催 なんみんフォーラム(FRJ)、東京大学難民移民ドキュメンテーションセンター  
 参加者 約200人  
 出席者 カトリックから1人

本会議は、多様な国籍や背景を持つ難民が、自らの現状に対する問題提起と建設的な解決策の提案を自ら行い、特に日本語教育と社会統合への課題について意見交換を行うことを目的に開催された。基調講演にはヨハン・セルス国連難民高等弁務官事務所駐日代表と中川正春・文部科学大臣が、それぞれの立場から日本の難民受け入れや難民の日本社会への適応について講演した。続いて二つのパネルディスカッションが行われ、前半は「日本語教育へのアクセスの向上」、後半は「地域コミュニティとの交流を深める」というテーマで、難民の実体験に基づく討論が繰り広げられた。RCCJ事務局長のマリッパ・セン・ブさんの、日本社会がさらに難民への理解を深めてほしいというアピールで閉会した。

### ■難民支援実務家向けワークショップ―「収容の代替措置―外国人の収容を回避するために」

日 時 2011年10月14日(金) 10:00-18:00  
 場 所 カトリック麹町教会 岐部ホール(東京・千代田区)  
 主 催 なんみんフォーラム(FRJ)

共 催 国連難民高等弁務官（UNHCR）駐日事務所  
参加者 約40人  
出席者 カトリックから1人

日本では入国管理局収容所施設に関して、収容の長期化や難民申請者の収容など様々な問題が指摘されているが、近年諸外国では収容を制限し、収容に代わる「収容代替措置」を導入する動きが見られる。午前中は、「収容代替とは何か」のテーマで、世界各国で収容代替措置の導入を推進するオーストラリアの NGO、International Detention Coalition (IDC) の代表グラント・ミッチェルさんが、収容代替措置、海外で行われている取り組みの事例、市民社会の役割などについて説明した。午後は「日本への導入の検討」について、小グループに分かれて作業を行った。現状分析をした後、日本のパイロットモデルの計画、主要メッセージと行動計画などを作成した。作業を通して、現在の収容の様々な問題が明らかになったが、代替措置によって大部分の問題が解決されることが予想され、代替措置の早期の導入を求めているという気運が高まった。

## 正義と平和協議会

### ■事務局会議

日 時 2011年10月11日（火）11:00-13:00  
場 所 日本カトリック会館 会議室5  
出席者 6人

### 報 告

#### 1. 九条アジア宗教者会議報告

10月5日から7日まで沖縄県那覇市で上記会議が行われ、10カ国から220人の参加があった。

#### 2. 宗教者九条の和 熊谷シンポジウム報告

#### 3. 各種活動賛同状況

#### 4. 2012年度長崎大会進捗状況

10月16日午後、長崎カトリックセンターで来年度長崎大会の打ち合わせを行い、事務局より3人が出席。

### 審 議

#### 1. 2012年度事業計画などについて

#### 2. 済州島基地問題に関する韓国カトリック教会との連帯について

正義と平和協議会会長名で、姜 禹一司教あてにメッセージを送る。

12月上旬、九条アジア宗教者会議が企画する「済州島基地建設問題 日韓連帯会議」への参加を検討。

#### 3. 練成会について

来年度は「社会的靈性を深める練成会」を企画。

### ■スタディツアー「田中正造の足跡を辿るバスツアー」

日 時 2011年9月17日（土）9:15-16:00  
場 所 渡良瀬遊水池、田中正造記念館、他（栃木・足利市、佐野市）  
参加者 26人  
主 催 カトリックさいたま教区正義と平和協議会



共 催 日本カトリック正義と平和協議会  
テーマ 「問われている現代社会と我々－田中正造とその思想から考える」

#### 内 容

布川 了さん（田中正造記念館名誉館長）の案内で、足尾銅山からの鉱毒流出による被害とその治水対策によって廃村に追い込まれた旧谷中村（渡良瀬遊水池）、田中正造記念館、生家、逝去の地である庭田家、分骨地の雲竜寺を訪れた。田中正造の足跡を巡り、その人となり、思想を学んだ。

#### ■スタディツアー「原爆と軍艦島を通じて」

日 時 2011年10月15日（土）13：00－16日（日）12：30  
場 所 長崎カトリックセンター、軍艦島（長崎・長崎市）  
参加者 30人  
主 催 カトリック長崎大司教区福音化推進部平和推進部会  
共 催 日本カトリック正義と平和協議会  
テーマ 「過去を糧に未来へ」

#### 内 容

15日は長崎カトリックセンターで講演を聴講。

- ・「軍艦島と原爆を通じて見た近代日本」 講師 高實康稔さん（岡まさはる記念長崎平和資料館理事長）
- ・「在外被爆者問題について」 講師 平野伸人さん（在外被爆者支援連絡会）

軍艦島（正式名：端島）は長崎湾沖の海底炭坑であり、一時は5,000人の住民がいた島であったが、1974年に閉山し、無人島になっていた。近年一般公開されるようになり多くの人を訪れるが、高實さんはこの島において強制連行された朝鮮人、中国人が働いていた過去が語られないことを危惧していた。平野さんは戦前、日本にいて被爆した「在外被爆者」が必要な支援を受けられない現状とそれに取り組む活動を紹介した。

16日は長崎市内の棧橋から船に乗り、幸運にも軍艦島に上陸することができ、高實さんより説明を聞いた。

#### ■20条の部会

日 時 2011年10月11日（火）14：00－16：00  
場 所 日本カトリック会館 会議室5  
出席者 5人

#### 報 告

正義と平和講演録 vol.5『国是と信教の自由－入門・憲法二十条』が、10月下旬に納品予定

#### 審 議

1. 2012年度の活動計画
  - ・5月に名古屋近郊でシンポジウム開催を検討。
  - ・正義と平和全国集会・長崎大会への参加を検討。
2. 現地学習会「靖国神社と遊就館」について  
12月10日（土）に実施、講師は木郎健三さん。午前中に見学、午後は学習会を行う。

#### ■NCC 平和・核問題委員会

日 時 2011年9月5日（月）14：00－16：30

場 所 日本キリスト教会館 会議室（東京・新宿区）

出席者 カトリックから1人

#### 報 告

1. 各地の脱原発関連催しの報告
2. 浜岡原子力発電所をめぐる動き

#### 審 議

1. JEDRO(日本キリスト教協議会エキュメニカル震災対策室)の国際会議について
2. 第2回脱原発フォーラム開催について  
日 時 9月17日(土) 14:00-16:30  
場 所 日本基督教団 信濃町教会(東京・新宿区)  
テーマ 「事故がなくてもいのちを奪う原発」
3. 声明文の検討

#### ■NCC 靖国神社問題委員会

日 時 2011年10月3日(月) 18:00-20:00

場 所 日本キリスト教会館 バプテスト同盟会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから2人

#### 報 告

各教派、団体からの報告

#### 審 議

1. 声明文、要請文の文案を検討
2. 東京都の所有地の宗教施設存在確認について都庁に質問書を作成し、10月常任委員会で文面を確認して提出。
3. 次期委員長、常任委員、役職(書記、会計)の選出に関して検討。
4. 学習会「Xデー・即位礼・大嘗祭に向けて 第5回目」

#### ■NCC 女性委員会

日 時 2011年10月18日(火) 10:30-13:00

場 所 聖公会センター(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

#### 報 告

1. 各教派、団体より報告
2. 世界祈祷日関連の報告

#### 審 議

1. 韓国水曜デモ1000回アクション12・14全国行動に賛同。
2. 韓国在日日本NCC女性委員会連帯交流会について

## ■平和を実現するキリスト者ネット

日 時 2011年10月12日(水) 14:00-16:00

場 所 日本キリスト教会館 会議室(東京・新宿区)

出席者 カトリックから1人

### 報 告

1. 会計、賛同状況
2. 集会・行動の報告

第93回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動(平和をつくりだす宗教者ネットより)

2011年9月21日(水) 12:00—衆議院第2議員会館第6会議室で集会

12:30—首相官邸前

署名提出 570筆 総数 86,617筆

### 審 議

1. 第94回自衛隊ソマリア沖派兵中止を求める宗教者国会要請行動(10月28日)要請メンバーについて
  2. ニュースレター122号(クリスマス号)について
  3. キャロリング・フォー・ピースについて
- 2011年12月16日(金)東京ユニオンチャーチで実施予定。内容を検討。

## HIV/AIDS デスク

### ■第4回 HIV/AIDS デスク

日 時 2011年10月5日(水) 13:30-15:30

場 所 日本カトリック会館 会議室3

出席者 7人

### 報 告

1. 南ア・チャリティーコンサートについて  
9月18日(日)、カトリック赤堤教会(東京教区)で開催された。100人以上の来場者が南アフリカにおけるHIV/AIDSの現状を聞いた後、ゴスペルコンサートに参加した。当デスクも後援団体として参画、展示会場でミニカードや小冊子の配布、レッドリボンのキーホルダーを紹介した。
2. 京都のAIDS文化フォーラム  
10月1日と2日、龍谷大学の宮学舎で開催された。河野小夜子さん(委員)と伊東(事務局)が2日間参加し、展示会場で当デスクの啓発活動を紹介した。宮本信代さん(秘書)は、2日のシンポジウム「宗教とエイズ」に登壇し、浄土真宗の僧侶や同志社大学および龍谷大学の大学院生と意見を交わした。横浜のフォーラムとは違った雰囲気分会场との距離も近く、質疑応答で内容も広がった。
3. 今年のミニカードとポスターの準備状況  
9月にデザイナーと打ち合わせして、昨年の素材をアレンジして作成してもらうよう依頼。ミニカード裏面のデータは各委員が確認した後、まとめる。
4. 四半期のAIDS患者報告数  
今年4月からの四半期のAIDS患者報告数が過去最高だったというマスコミ報道があった。
5. その他の報告  
・第10回アジア太平洋地域エイズ会議  
韓国の釜山で8月26日-31日に開催され、重久マチ修道女(委員)が参加した。来場者は約3,000人。

日本から10人が参加した。2012年はアメリカ・ワシントンDCで第19回国際エイズ会議が、第11回アジア太平洋地域エイズ会議は2013年にタイ・バンコクで開催される予定。

・ケニアの医療支援（宮本さん）

名古屋の医師団と共に訪問した。ケニア郊外の医療現場を視察。

## 審 議

### 1. ポスターとミニカードについて

内容を検討。

### 2. 新規エイズ患者が過去最多という報道を受けて

「検査を受けよう」など、意識化を図る意味で、カトリック教会が発行する小冊子があるとよい。1998年に実施したような意識調査(アンケート)の結果が載っていると説得力がある。

ポスターの配布時にアンケートをお願いする。カトリック学校は中・高・大学生を対象にする。

### 3. 聖公会の世界 AIDS・DAY 記念礼拝

12月4日(日)に牛込聖公会聖バルナバ教会(東京・新宿区)で開催される。第1回の打ち合わせは10月24日(月)に日本聖公会管区事務所で行われ、伊東が出席の予定。

次回日程 2011年12月7日(水) 13:30-15:30

## 中央協議会事務局

### ■総務

#### 12月会議予定

|                 |                  |                   |
|-----------------|------------------|-------------------|
| 1日(木)           | 常任司教委員会          | 日本カトリック会館         |
| 1日(木)           | 諸宗教部門会議          | 〃                 |
| 2日(金)           | 部落差別人権委員会定例委員会   | 〃                 |
| 4日(日)           | 世界 AIDS・DAY 記念礼拝 | 牛込聖公会聖バルナバ教会(新宿区) |
| 7日(水)           | HIV/AIDS デスク会議   | 日本カトリック会館         |
| 15日(木)          | 終身助祭養成委員会・定例会議   | 〃                 |
| 15日(木) - 16日(金) | 司教のための社会問題研修会    | 〃                 |
| 16日(金)          | 「司牧の手引き」編纂特別委員会  | 〃                 |
| 20日(火)          | カリタスジャパン援助部会     | 〃                 |

カトリック中央協議会 「会報」 2011年12月号 (通巻486号)

発行日 2011年11月20日

発行 宗教法人カトリック中央協議会 <http://www.cbcj.catholic.jp>

〒135-8585 東京都江東区潮見 2-10-10 電話 03-5632-4411 Fax 03-5632-4457